

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	公園等における安心安全緊急整備計画（がけ地及びブロック塀対策）													
計画の期間	平成30年度～平成31年度（2年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	大田区													
計画の目標	2018年6月の大阪府北部地震ブロック塀倒壊事故を受け実施した区立公園の緊急目視安全点検結果に基づき、緊急整備を要する公園内のがけ地及びブロック塀の対策を行うことで、公園利用者や隣接住民等の安心・安全性を確保する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		78	A	78	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初		H31末
1	多摩川台公園及び本門寺公園におけるがけ地対策 5箇所 簡易土留を設置する。	0箇所	箇所	5箇所
2	区内26公園における既存ブロック塀のフェンス化 27箇所 既存ブロック塀のフェンス化	0箇所	箇所	27箇所

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	大田区	直接	大田区	-	-	多摩川台公園	がけ地の斜面安定化対策	大田区						8		未策定
	A12-002	公園	一般	大田区	直接	大田区	-	-	本門寺公園	がけ地の斜面安定化対策	大田区						2		未策定
	A12-003	公園	一般	大田区	直接	大田区	-	-	本門寺公園ほか25公園	既存ブロック塀のフェンス化	大田区						68		未策定
											小計						78		
												合計						78	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
大田区都市基盤整備部の事業として、関連する5部署（都市基盤管理課、地域基盤整備第一課、地域基盤整備第一課（調布地域基盤整備事務所）、地域基盤整備第二課、地域基盤整備第二課（糀谷・羽田地域基盤整備事務所））により、事後評価を実施した。	令和2年度
	公表の方法 大田区のホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	簡易土留めによる自然がけの対策は、大規模な仮設や大幅な地形の変更を要せず、対象地のような急斜面の樹林地において有効な工法であり、がけ地の安定を早期に実現できた。 既存ブロック塀のフェンス化は、倒壊の恐れがあるブロック塀の撤去を行った後の、敷地境界の明確化や隣接地への影響を軽減するとともに、安心・安全な公園運営が実現できた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
自然がけ地対策及び既存ブロック塀対策について、令和元年度に応急対策措置とした箇所については、令和2年度以降に順次、簡易土留めの設置及びフェンス化を実施する。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	多摩川台公園及び本門寺公園におけるがけ地対策 5箇所	
	最終目標値	5箇所
	最終実績値	2箇所
2	区内26公園における既存ブロック塀のフェンス化 27箇所	
	最終目標値	27箇所
	最終実績値	11箇所